

シグマ研究委員会 核構造・崩壊データ専門部会

核構造データ W. G. サブグループ会合

日 時：昭和57年11月30日（火）13：00～17：30

12月 1日（水） 9：30～17：30

場 所：原研東海研究所 核物理特研19号室

出席者：宮野（新潟大），大矢（新潟大），田村（原研）

議 事：1. A = 124 の検討・作業

2. A = 118 の検討

3. A = 121 の計画

1. A = 124 の検討・作業

A = 124 については ENSDF 形式のファイルが前年度末に一応完成しており、すでに橋爪、天道、大島委員により査読をうけている。その後 Zeist 会合での編集方法の改訂に伴う細かい修正を行った。

i) 2ndカードの最終の“ Ψ ”記号の消去

ii) A_2 , A_4 係数の抹消

また、最近公表された文献についての収録が必要である。

i) ^{124}I : $^{124}\text{Sn} (p, n) ^{124}\text{I}$

^{124}I adopted levels, gammas,

ii) ^{124}Cs : $^{124}\text{Ba} \beta^+$ decay scheme

^{124}Cs adopted levels, gammas.

12月末日までに上記について作業を完結して NNDC へ送付できる見通しである。

2. A = 118 の検討

A = 118 については ENSDF ができているが、adopted levels, gammas については不十分であり、とくにスピン・パリティの同定とその根拠の明示について1～2回の作業が必要であろう。

3. $A = 121$ の計画

$A = 121$ について、文献表を作成した。

Stable line から離れた核概について β 崩壊のデータがかなりよくなってきている。 ^{121}Te , I, Xe についての in-beam γ 線スペクトロスコピーのデータも公表された。

次回までに文献の収集を行っておく。

次回 昭和58年1月11日(火)~12日(水)の予定